

ケースで学ぶシステム監査

日時 2021年3月5日(金) 10:00~17:00(6H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室(右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-1891(直)

講師 東洋大学総合情報学部教授
公認情報システム監査人／公認内部監査人
(元)東京ガス(株) 監査部情報システム監査グループマネージャー
しまだ ゆうじ
島田 裕次氏

対象 内部監査担当者、監査役、
経営管理および経理財務部門・
システム部門の方々

主催  一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

システム監査は、売上や利益の増大、顧客サービスの向上、コスト削減といった経営目標の達成にITを活用していく仕組み(ITガバナンス)が構築され運用されているかどうかを点検・評価し、必要な改善提言を行うことを目的としています。IT部門から内部監査部門に異動し、システム監査の担当を命じられ、システム構築・運用・保守を行う立場とそれを監査する立場のITに対するアプローチの違いに戸惑っている方々も多いと思います。また、内部監査部門で業務監査や会計監査を実施していた方々が、システム監査を実施するように指示を受けて、どのように進めたらよいのか悩んでいる方々も多いのではないのでしょうか。

本講座は、こうした方々の悩みを解決できるように、簡単な質問やケーススタディを織り込みながら、システム監査の概要やそのポイント・進め方を解説いたします。

参加料 [テキスト・資料代含む]	参加料	消費税	合計
日本経営協会会員(1名)	30,000円	3,000円	33,000円
一般(1名)	37,000円	3,700円	40,700円

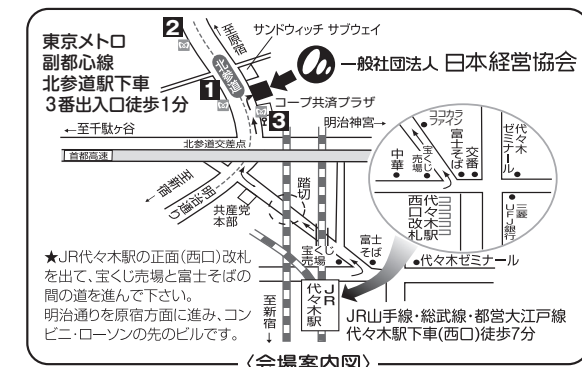
■早割・複割について [最大4,400円(税込)割引]

- ・早割(早期申込割引) お申込みされた講座のうち、開催日がお申込み日より2ヵ月以上先の講座について参加料を1講座1名あたり2,200円(税込)割引させていただきます。
- ・複割(複数申込割引) 複数名のお申込みで、参加料を1名あたり2,200円(税込)割引いたします。(ただし、同時にお申込みの場合に限ります)

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までにお申し込みください。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込みの場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください(特記の場合を除く)。



《会場案内図》

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索／ご入会のご案内」をご参照ください。

■WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <http://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー／講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

お申込み・お問合せ先 一般社団法人 日本経営協会
企画研修グループ ●担当：緒方
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL(03)3403-1891(直) FAX

プログラム内容

1. システム監査とは

- ・システム監査の目的
- ・システム監査の二つの側面
(内部監査と外部監査)
- ・内部統制 (IT統制) の有効性評価や
情報セキュリティ監査との相違点

2. システム監査の現状

- ・システム監査の実施状況
- ・システム監査のテーマ

3. システム監査に関する基準の概要と 使い方

- ・システム監査基準／システム管理基準
- ・COBIT、情報セキュリティ監査基準、
情報セキュリティ管理基準

4. システム監査の体制と手順

- ・システム監査の体制
- ・システム監査手順の概要と特徴

5. ケースで学ぶITリスクとシステム監査 のポイント

- (1) システム開発におけるITリスクと監査
ポイント
 - ・システム開発の失敗
 - ・契約にかかわるトラブル
 - ・要件定義の失敗
- (2) システム運用・保守におけるITリスク
と監査ポイント
 - ・操作、運用ミス
 - ・変更管理にかかわるトラブル
 - ・障害管理にかかわるトラブル

- ・外部委託先管理にかかわるトラブル
(情報漏洩を含む)

(3) IT利用におけるITリスクと監査ポイント

- ・不正アクセス (ハッキング・ホーム
ページ改ざん ほか)
- ・BYOD
- ・SNS、メールの利用にかかわるトラブル
- ・端末、外部記憶媒体持ち出しの監視

(4) 大規模災害と監査ポイント

- ・外部サーバ、データセンターの活用
- ・BCP (業務継続計画) の策定と訓練

(5) 外部委託先の撤退・倒産

- ・委託先の選定
- ・委託契約
- ・「危ない兆候」

6. ケーススタディ

システム開発プロジェクトの監査

7. まとめ

～付加価値の高いシステム監査～

- ・経営に役立つ監査報告
- ・システム監査人の価値向上サイクル

※島田裕次先生著「システム監査の実務解説
(第3版)」(同文館出版)をさしあげます。
また当日教材としても使用いたします。

*出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせください。

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

講師プロフィール

東洋大学総合情報学部教授 公認情報システム監査人／公認内部監査人
(元)東京ガス(株) 監査部情報システム監査グループマネージャー

島田 裕次(しまだ ゆうじ)氏

1979年早稲田大学政治経済学部卒業、同年東京ガス(株)入社、IT部門、監査部、経理部などで勤務し、2009年より現職。1999年より日本大学商学部非常勤講師、東洋大学総合情報学部教授、日本大学商学部非常勤講師(科目:コンピュータ会計論)、博士(工学)、情報処理技術者試験委員、システム監査技術者(経済産業省)、公認情報システム監査人(CISA)、公認内部監査人(CIA)、公認情報セキュリティマネージャー(CISM)。

【主な著書】『よくわかるシステム監査の実務解説(第3版)』(同文館出版)、『内部監査入門』(翔泳社)、『内部監査人の実務テキスト(基礎知識編)』、『同(業務知識編)』、『情報セキュリティ・個人情報保護のための内部監査の実務』(日科技連出版社)、『情報セキュリティの基本』(日本実業出版社)